



コンポストセンター竣工式

(特非) DIFAR

ボリビア多民族国 パンパグランデ市における農薬容器を含む 廃棄物リサイクルシステム導入

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

教員と市場労働者が
対象の講習会の実施回数 **53回**

農薬容器のリサイクル回収の
講習会実施回数 **13回**

活動の全体目標に
対する達成度 **40%**

課 題

年間約24トンの農薬容器が排出されているが、啓発不足のため適切に処理されておらず、さらにごみの分別回収がされていないため、環境汚染と健康被害が懸念されている。

活動内容

- 使用済みの農薬容器のリサイクルについて講習会を13回開催。専用の回収所を設置し回収キャンペーンを実施した。
- 教員117人へ向けた環境教育の講習会を50回実施し、教員が生徒を対象に環境教育を実施した。内容はごみの分別、自然を感じる、環境汚染、啓発コンクールの4テーマで、啓発コンクールでは192枚の環境標語の看板を制作し、市内各地に設置した。
- 学校と市場、広場にて資源ごみの分別回収を実施した。



環境標語コンクールで看板を
作成した生徒と教員

今後の課題

農民へ向けた講習会の継続と開催数増により、農薬容器回収率増加を図る。8校での資源ごみ分別の継続、対象校の拡大による生徒への環境啓発及びごみの減量を図る。市場での回収を継続し、市民向け講習会を開始する。

成果と工夫した ポイント



成果

3回の農薬容器回収のうち、最後に実施した回収は前回比180%の1.3トンを記録した。市民約2,150人に講習会を実施し、ごみの分別を開始した。2か月間のテレビCM放送により広く市民へ啓発ができた。

工夫

教員に講習会を実施することで教員が各クラスで環境教育を実践することができ、効率的に啓発活動ができた。